

群 教 セ	G14-02
	平 14.209 集

福祉体験学習に役立つ マルチメディア資料集の作成

特別研修員 宮澤 秀治（境町立西中学校）

《研究の概要》

本研究では、福祉体験学習において、生徒一人一人が自ら課題を見つけ、自ら進んで調べ学習に役立つマルチメディア資料集を作成した。作成に当たっては、これまで本校で行われた活動の写真やビデオを多く取り入れたり、インターネット上の福祉に関する情報へのリンクを設定したり、町の福祉施設の写真や資料等も豊富に取り入れたりして、生徒が福祉の学習に積極的に取り組めるように工夫した。

【キーワード：福祉体験 コンピュータ マルチメディア 地域教材】

主題設定の理由

本校では、福祉教育を「総合的な学習の時間」に設定し、福祉体験活動を中心に、全学年で福祉をテーマとした学習に取り組んでいる。1年生では、校区内にある社会福祉施設「いこいの里」において、お年寄りの人たちとの交流を中心に高齢者福祉の学習に取り組んでいる。2年生では、伊勢崎養護学校の子供たちとの交流を中心に障害者福祉の学習に取り組んでいる。3年生では、点字や手話の学習を行いながら、福祉について特に深く追求したい課題を生徒一人一人が選択し、その課題解決に向けての学習に取り組んでいる。

昨年度は、3年生の福祉体験学習を次のように行った。まず、1学期に1年生と2年生の時に行った福祉体験学習を通して課題を見つけ、自分の取り組みたい課題を設定した。2学期には、その課題解決に向けて、さらに体験活動を重ねたり、学校の図書室や町の図書館の本を読んだり、インターネットで調べたいことを追求したりして学習を進めた。そして、3学期に自分の研究したことをまとめ、発表会で紹介した。

しかし、この福祉体験学習を振り返ってみると生徒は、自分の課題をなかなか設定できなかったり、進んで学習に取り組めなかったりという問題点があげられた。これらの原因の一つとして、福祉について調べたい資料が極端に少なかったことが考えられた。そこで、一人一人の課題を見つけやすくし、かつ積極的に学習に取り組めるように豊富な情報を盛り込んだマルチメディア資料集の作成を考えた。

その内容としては、これまで各学年で行われていた福祉体験学習の取り組みの様子をいつでも自由に見られるように、写真やビデオを取り入れる。また、本校で行ってきた福祉学習を理解しやすいように「高齢者福祉」「障害者福祉」「バリアフリー」「ボランティア活動」の4項目の内容で整理・分類し、福祉に関する図書資料として紹介する。さらに、インターネット上の福祉関係の情報にリンクを設定し、福祉に関して調べたい学習内容を容易に見つけられるようにする。さらに、身近な福祉の学習にも取り組むことができるように、境町の福祉について詳しく知ることができる資料を用意する。

このようなマルチメディア資料集ができれば、生徒一人一人が自分で福祉に関する課題を見つけ、その課題を解決するために自ら進んで調べ学習に取り組むことができると考え、本題材を設定した。

研究のねらい

福祉体験学習において、生徒一人一人が自分で課題を見つけ、自ら進んで調べ学習をするために役立つマルチメディア資料集を作成する。また、本資料の有効性を、授業実践を通して明らかにする。

研究の見通し

福祉体験学習に役立つと考えられる資料を、次のようにして Web ページ形式でまとめれば、研究のねらいに沿ったマルチメディア資料集が作成できるであろう。

- 昨年度の本校の福祉体験活動の様子を写真やビデオにして取り入れる。
- 調べ学習に役立つ図書資料として「高齢者福祉」「障害者福祉」「バリアフリー」「ボランティア活動」の4項目の内容で整理・分類し、生徒に紹介するページを作成する。
- 境町の福祉の取り組みが分かるように、町の福祉に関する施設などの写真や福祉に関するイラスト等を収集し、Web ページに取り入れる。
- インターネット上の福祉に役立つ Web サイトへのリンク集を作成する。

研究の内容

1 マルチメディア資料集の概要

(1) 基本的な考え方

本資料集は、福祉体験学習において生徒一人一人が自分の興味・関心に応じて、福祉について調べ、自ら課題を設定し、その課題を解決するために役立つ資料と情報の提供を目的としている。そこで以下の点に留意しながら、写真やビデオが表示でき、ハイパーリンクが可能な Web ページ形式で作成する。

- 各学年の福祉体験学習の情報をする方法として、昨年度の各学年の福祉体験学習の様子を撮影したビデオを編集したり、様子を伝える写真を掲載したりして、生徒が必要に応じていつでも参考にできるようにする。
- 福祉に対する生徒の興味・関心の実態をもとに、興味・関心の対象を分かりやすい言葉で表し、福祉に関する調べ学習が進みやすいようにする。興味・関心を抱いている項目を選ぶとさらに細かい項目が表れ、段階的に絞り込んでいけるようにする。
- 課題の解決に向けた学習の支援となるように、本校で福祉について学習している「高齢者福祉」「障害者福祉」「バリアフリー」「ボランティア活動」の4項目の内容で整理・分類する。
- 境町の福祉施設やバリアフリーが取り入れられている場所を、デジタルカメラやデジタルビデオカメラを利用し、視聴覚資料を多く取り入れるようにする。
- 福祉に関する学習をさらに発展させたいために、必要な情報や資料が検索できる「リンク集」を設ける。
- 進んで調べ学習を行うことができるために、資料集を CD-R にして生徒一人一人のパソコンで使えるようにする。
- 調べ学習で集めた資料をまとめ、今までの福祉体験学習の振り返りができるように、学習ノートをまとめさせる。

(2) 資料集の構成

本資料集の構成は、図1の通りである。

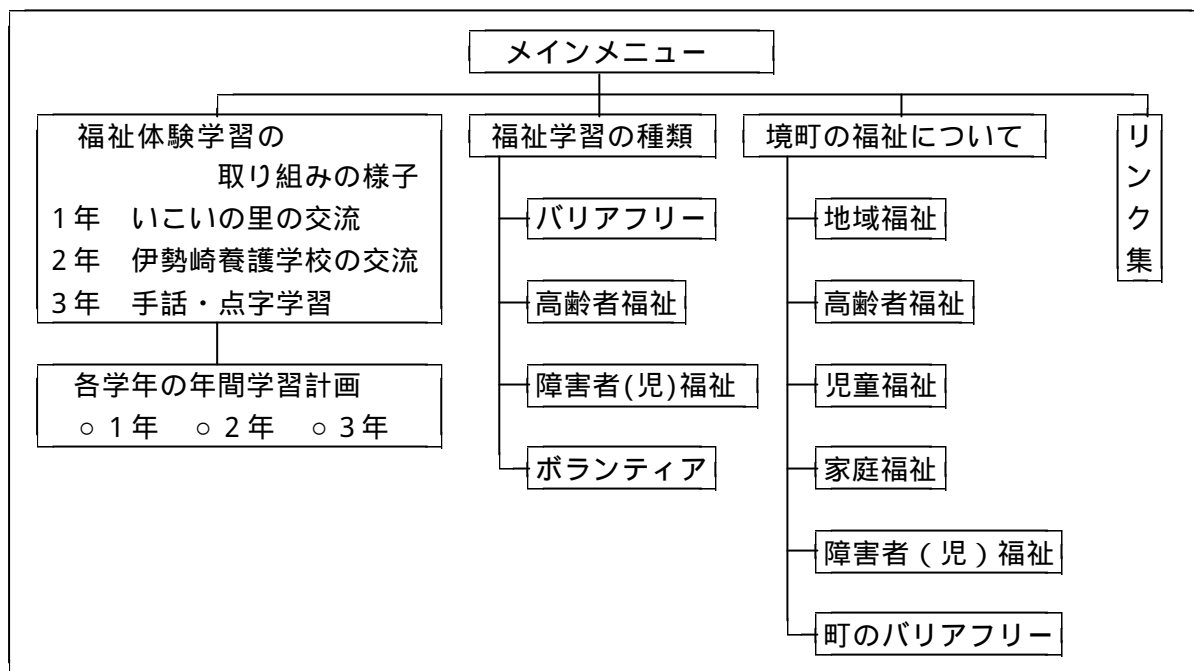


図1 資料集の構成

2 マルチメディア資料集の内容

(1) メインメニュー

メインメニューから、生徒が調べたいところを選択していく「各学年の取り組み」「福祉学習の種類」「境町の福祉」「リンク集」の4領域に分類し、生徒が興味・関心を持って取り組み、課題設定や課題追求に向けて参考になるような項目を設定する(図2)。

(2) 各学年の取り組み

福祉体験学習の様子を知り、興味・関心を持って取り組めるようにするために、各学年の福祉体験学習の紹介のページを1学年は、「いこいの里」との交流、2学年は伊勢崎養護学校との交流、3学年は手話・点字学習で構成する。ページの画面の工夫として、学年をクリックすると前年度の体験の内容や様子が写真で見られるようにする。さらに、ビデオをクリックすると、これから行う体験学習の様子がビデオで15秒程度見られるようにする(図3)。

次に、各学年の年間の取り組みのページは、1年間でどのような学習をしていくのかを見通しを持って取り組めるように毎月の学習計画を掲載する。このページからも、福祉体験学習の内容や様子を表したページに行けるようにリンクを設定する。

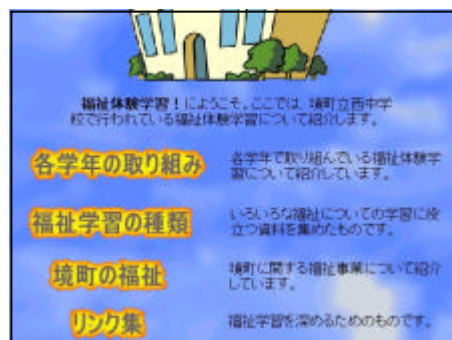


図2 メインメニュー



図3 体験学習のビデオ(車椅子)

(3) 福祉学習の種類

中学校3年間の福祉体験学習に関連する福祉学習の種類について、本校で特に重点的に学習した福祉の項目「バリアフリー」「高齢者福祉」「障害者福祉」「ボランティア活動」の4項目の分類に分ける。分類に含まれる福祉の種類を具体的に示すことで、調べるポイントがよく分かるようにする。

(4) バリアフリー

バリアフリーを学習する上で、ユニバーサルデザインについて調べたい項目が分かるようにQ & Aの形式で作成する(図4)。全体の構成は、「車椅子使用者」「視覚障害者」「聴覚障害者」のためのバリアフリーという三つに分ける。また、境町のバリアフリーについては施設の名前をクリックするとバリアフリーが施されている部分を拡大した写真を見ることができるようになる。

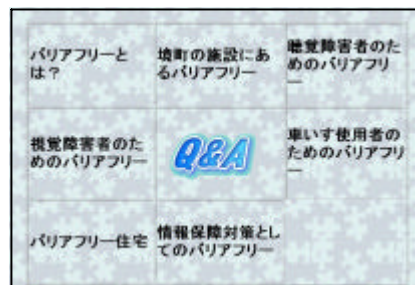


図4 バリアフリー

(5) ボランティア活動

ボランティア活動についても、バリアフリーのページと同様に調べたい項目が分かるようにQ & Aの形式で作成する(図5)。ここでは、「ボランティアとは何か?」という基本的なことを調べるために八つの質問事項を設け、それに答える形にする。

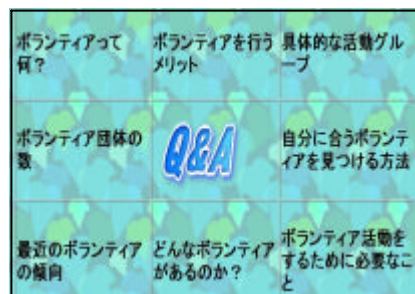


図5 ボランティア活動

(6) 障害者福祉

障害者福祉を学習するこのページでは、障害者福祉とは何かを分かりやすく説明し、調べたい内容にリンクを設定し、追究できるようにする。また、障害者福祉に関連のある養護学校との交流のページや町の障害者福祉の取り組みのページも見ることができるようリンクを設定する。

(7) 高齢者福祉

このページでは、高齢者福祉とは何かを分かりやすく説明する。また、高齢者福祉について調べたい内容へのリンクも設定し、追究できるようにする。さらに、町の老人福祉施設「いいの里」との交流のページや町の高齢者福祉の取り組みのページへもリンクを設定する。

(8) 境町の福祉

ここでは、境町の福祉の取り組みを「地域福祉」「高齢者福祉」「児童福祉」「家庭福祉」「障害者福祉」「その他」の六つに分けてページを構成する。今の境町の現状と課題、基本方針、取り組みの様子が分かりやすくなるようにイラストを加える(図6)。

(9) リンク集

インターネット上には福祉に関する情報が数多くある。しかし、福祉に関する有益な情報を収集するには、時間が多くかかる。そこで、自分の調べたい福祉のページにたどり着けるように、高齢者福祉や障害者福祉など、種類別に分けたリンク集を作成する。



図6 境町の福祉

3 実践の結果と考察

(1) 授業実践

単元名 「福祉について学習しよう」(50時間計画)

対 象 3年 70名

(2) 活動計画

学習過程	時間	学 習 内 容
見つける	15	○各学年の福祉体験学習の取り組みを先輩の活動の様子から知り、1年間の学習の流れをつかむ。 ○いこいの里との交流や伊勢崎養護学校との交流から、2年間の福祉についての学習を振り返る。 ○点字学習や手話教室などの体験学習を行い、自分なりに課題を持つ。 ○福祉についてどんなことを調べるのか、自分の課題を決める。
追究1	10	○自分の課題を追究するための学習計画を立てる。 ○自分の課題を解決する手がかりとして、まず学校の図書室や町の図書館の本から参考になる文献を探して調べる。
追究2	10	○本資料集を活用して、自分の課題を解決するために福祉について学習する。(本時7/10) ○福祉について調べるために、町の施設を訪問する。 例 社会福祉協議会・境駅・郵便局・図書館・いこいの里役場・文化センターなど ○体験したことや訪問して分かったことを整理して考察する。
まとめ	10	○自分の課題を追究した結果、分かったことをまとめる。 ○お互いに調べたことを意見交換会の形式で発表する。
生かす	5	○学んだことを生かし、自分が社会の一員として、何をしたらよいかを考えて、今後の福祉の活動に役立てるようにする。

(3) 授業の様子

授業のはじめに、このマルチメディア資料集を利用しながら福祉の学習をすることを生徒に知らせた。自分の課題が明確で視点が絞られている生徒については、参考になるページやその事柄に関連したページへのリンクの使い方などをアドバイスし、生徒が進んで学習できるように支援した。自分の課題があいまいで視点が明確でない生徒については、調べたい視点が持てるように参考となるページを紹介した。その中で課題を見つけることに役立つと考えられるキーワードを見つけさせ、課題追究へのきっかけをつかませるように支援した。また、境町の福祉の取り組みのページやインターネット上の福祉に関するリンク集のページを紹介し、活用することを進めた。その結果、自分の課題をはっきりと見つけ、解決に向けて真剣に取り組む生徒の姿が多く見られた(図7)。



図7 授業の様子

(4) 結果と考察

- 昨年度の福祉体験学習の取り組みの様子を写真やビデオを取り入れたことは、生徒が課題を見つけることに役立ったか。

授業実践後、本マルチメディア資料集を使用した生徒（70名）へのアンケート調査を行ったところ、「福祉体験学習の様子を写真やビデオなどでいつでも見ることができたので、自分で課題を見つける参考になった」という意見や、「福祉体験学習を行うときにも大いに参考になり、自分の課題をはっきりさせることができた」という意見があった。

また、「資料集では、昨年度の福祉体験学習の取り組みの様子を写真やビデオを使って取り入れられていますが、自分の課題を見つけるのに役立ちましたか」という質問に「大いに役立った」「役立った」と答えた生徒が90%であった。残りの10%の生徒は「どちらとも言えない」と答えた（図8）。

さらに、「大いに役立った」「役立った」と答えた生徒に対して、具体的にどんな点が役立ったのかを記入させた結果、「昨年度の福祉体験学習の取り組みの様子が見たい時に、いつでも自由に見ることができた」「福祉体験学習の取り組みの様子が写真やビデオによってつくられていたため分かりやすかった」という意見があった。

これらのことから、本資料集に福祉体験学習の取り組みの様子の写真やビデオを取り入れたことは、自分で課題を見つけることに役立ったといえる。

- 本校で学習している「高齢者福祉」「障害者福祉」「バリアフリー」「ボランティア活動」の4項目について内容を整理・分類した福祉に関する調べ学習の図書資料を作成したことは生徒が自分の課題の解決のために、自ら進んで調べ学習に取り組むことに役立ったか。

本資料集を使う前の時間までは、生徒の学習ノートの様子から、福祉に関する調べ学習があまり進んでいない生徒が多く見られた。その理由として、「学校の図書室や町の図書館の本を参考にして調べようとしたが、課題解決に適した本が少ない」「学校の図書室や図書館の本を参考にして調べたが、難しい言葉が多く内容も大人向けなので、とても分かりにくい」「参考になる資料の本を探すのに時間がかかり、調べる時間が少ない」「文字ばかりなので分かりにくく、理解するのに時間がかかる」などが挙げられた。その後、本資料集を使って授業を行ったところ、前の時間と比べてかなり調べ学習が進んだことが生徒の学習ノートの様子から分かった。

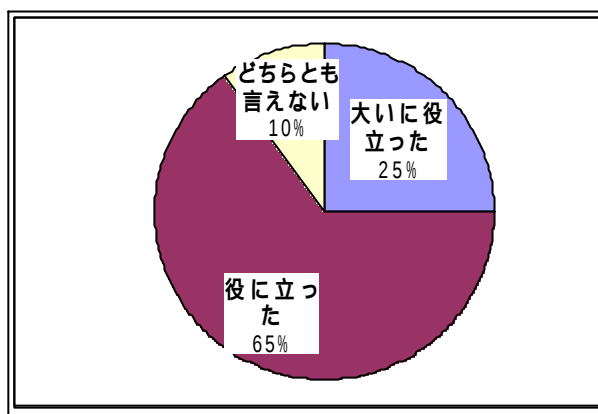


図8 写真やビデオが役立ったか

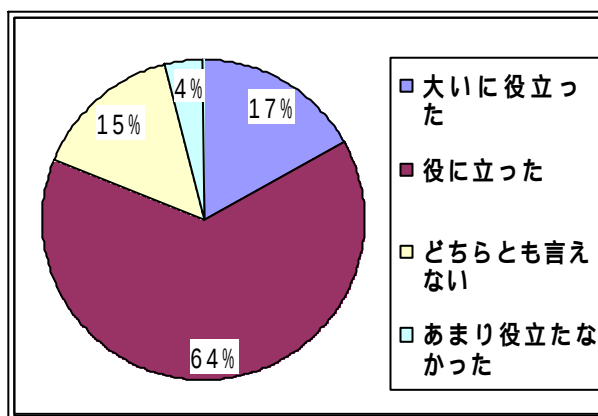


図9 調べ学習の図書資料は役立ったか

授業後、『高齢者福祉』『障害者福祉』『バリアフリー』『ボランティア活動』の4項目について内容を整理・分類した図書資料は、調べ学習をすることに役立ちましたか」というアンケートの質問に「大いに役立った」「役立った」と81%の生徒が答え、15%の生徒が「どちらとも言えない」と答え、4%の生徒が「あまり役立たなかった」と答えた(図9)。さらに、「大いに役立った」「役立った」と答えた生徒に対して、具体的にどんな点が役立ったのかを選択肢を用意し、複数回答をさせたところ、「項目が整理・分類されていて調べたい項目にすぐにとどみつことができたので、見つけやすかったから」77%、「写真やイラストが入って読みやすかったから」74%、「難しい言葉があまり入っていなかったから」70%、「自分の課題の手がかりに大いに参考になる部分が多かったから」65%という結果であった。

これらのことから、4項目について内容を整理・分類した図書資料を作成したことで、生徒が自分の課題の解決のために、進んで調べ学習に取り組むことに役立ったといえる。

- 境町の福祉のページの中に町の福祉施設の写真や福祉に関するイラスト等を掲載したことにより、境町の福祉の取り組みがよく分かったか。

本資料集を使う前までは、境町の福祉の取り組みについて、「よく知らない」という生徒がほとんどであった。その理由としては、境町の福祉について、1年生の時に社会福祉施設『いこいの里』での老人福祉の学習だけに限定して学習したことが考えられた。そこで、本資料集では、境町の福祉の取り組みについて、「地域福祉」「高齢者福祉」「児童福祉」「家庭福祉」「障害者福祉」「その他」の6つの分野が学習できることを生徒に知らせ、自由に調べさせた。その結果、ほとんどの生徒が境町の福祉の取り組みについて調べたことを学習ノートにまとめることができた。

授業後のアンケート調査で、「境町の福祉の取り組みについてよく分かりましたか」という質問に「よく分かった」「分かった」と答えた生徒は、合わせて84%であった。残りは、13%の生徒が「どちらとも言えない」3%の生徒が「分からなかった」という結果であった(図10)。さらに、「よく分かった」「分かった」と答えた生徒に対してその理由を記入させたところ、「境町の施設のバリアフリーの写真がたくさん載っていてから」「調べたい場所にすぐにとどみつことができたから」「福祉に関するイラストがあり、言葉の説明もやさしく書いてあったから」と答えた生徒が多かった。また、この学習をした後、実際に境町の福祉施設に行って自分の目で見て学習を深めた生徒も数多くいた。

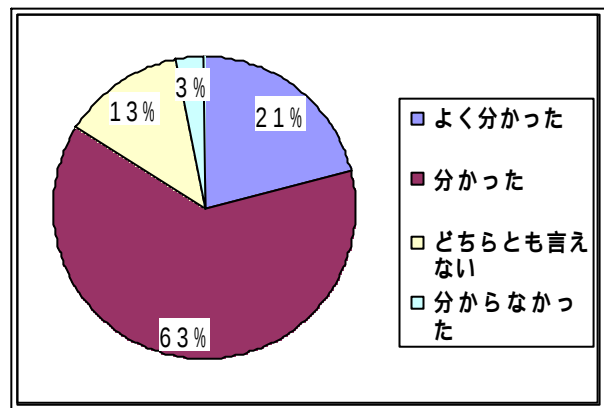


図10 境町の福祉についての理解

これらのことから、町の福祉施設の写真や福祉に関するイラスト等を掲載したことで、境町の福祉への取り組みがよく分かったといえる。

- インターネット上の福祉に役立つWebサイトへの「リンク集」を作成したことは、生徒が自分の課題の解決のために、進んで調べ学習に取り組むことに役立ったか。

本資料集を使用する前は、生徒の調べ学習はあまり進まなかった。その理由として、「インターネットで検索するのに福祉に関する資料が多すぎて探すのに時間がかかり十分調べることができない」ということが挙げられた。しかし、すぐに調べたい目的の場所にたどりつくことができる「リンク集」を活用することにより、短時間で福祉についての調べ学習ができるようになった。また、学習ノートの様子から、ほとんどの生徒が進んで調べ学習を進めることができたことが分かった。

授業後のアンケート調査で、「リンク集は、自分の課題の解決のために、役立ちましたか。」という質問をした結果、「大いに役立った」「役立った」と答えた生徒が合わせて87%であった。そして、13%の生徒が「どちらとも言えない」と答えた(図11)。さらに、「大いに役立った」「役立った」と答えた生徒に対して、具体的にどんな点が役立ったのかを記入させた結果、「調べたい場所にすぐにたどりつくことができたので、細かい内容まで調べることができたから」「福祉の種類ごとにリンクも整理・分類されているので、自分の課題解決に役立つ資料が早く見つかったから」などの意見を挙げていた。

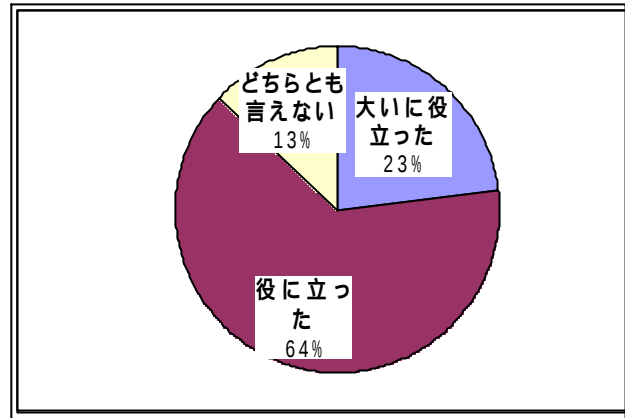


図11 「リンク集」は調べ学習に役立ったか

これらのことから、「リンク集」作成したことは、生徒が自分の課題の解決のために、進んで調べ学習に取り組むことに役立ったといえる。

研究のまとめと今後の課題

本資料集を用いて授業実践を行ったところ、以下の点が明らかになった。

- 写真やビデオを取り入れた本資料集は、各学年で今まで本校で行われてきた福祉体験学習について整理された形でまとめたことで、それを参考にほとんどの生徒が自分で課題を見つけることができた。
- 本資料集に、境町の福祉についての取り組みを加えたことで、生徒は福祉体験学習を身近に感じながら進んで学習に取り組むことができた。
- 本資料集に、本校で学習している「高齢者福祉」「障害者福祉」「バリアフリー」「ボランティア活動」の4項目についての内容を整理・分類して加えたことで、調べる内容が見つけやすくなり、生徒は進んで調べ学習に取り組むことができた。
- インターネットへのリンクを設定したことで容易に必要な情報を得ることが可能になり、生徒は進んで調べ学習に取り組むことができた。

今後の課題としては、全校生徒一人一人の課題に対応した福祉の学習ができるようにすることである。そのためには他の学年の協力もお願いし、より多くの資料を集め、一層充実させた資料集にしていきたい。

< 参考・引用文献 >

- | | |
|------------------------|----------------|
| ・境町第4次総合計画(基本構想・基本計画) | 境町 |
| ・ボランティアブック、これから始めるあなたへ | |
| | ボランティアワークショップ編 |
| | 野村みどり著 |
| ・バリアフリー | ブロンズ新社 |
| ・ボランティア、はじめの一步 | 慶應通信 |
| | 講談社編 |